農福連携の広がりと期待



調査研究部 主任研究員

濱田 健司

帮 告 要 旨

資する可能性を秘めている。 に限らず多様な広がりを見せており、 ③農業生産者による社会福祉法人等への農作業委託等がある。近年対象は障がい者に限らず、 景に発案された。形態は主に①社会福祉法人等による農業生産、 農福連携は農業における労働力不足と、 将来的には地域貢献のみならず、 障がい者の新たな就労の場の開拓という、 ②農業生産者による障がい者の直接雇用 多様性を受容する社会への移行に 両者の課題解決を背 業種も農業

1.JA大会決議に盛り込まれた農福連携

第28回JA全国大会決議には「農福連携」が第28回JA全国大会決議には「農福連携」が事者や生活困窮者を対象とする農福連携に、障害者や生活困窮者を対象とする農福連携に取り組みます」と書いてあります。これは

本松事務次官もいらっしゃいます。様々な嬉しをいだろう?」と言われました。ところが今日は、農福連携の応援団長であるところが今日は、農福連携の応援団長であるところが今日は、農福連携の応援団長である。

7日開催 6ページ。 **・地域の未来を拓く~:第20回JA全国大会決議| 2019年3月 | 2019年3月

https://org.ja-group.jp/pdf/jataikai/jataikai_resolution.pdf

さをかみしめながら、報告します。

2. 農福連携とは

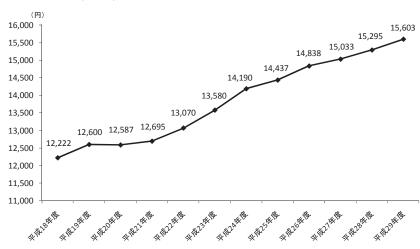
狭義の農福連携について説明します。に従事する取組みを農福連携と呼びます。ただし、これは意味が広がっていきますので、後ほし、これは意味が広がっていきますので、後ほと今後への期待としてお話ししますが、まずは

3. 働く障がい者

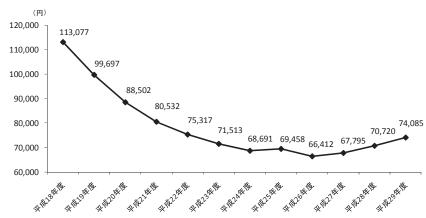
居本の障がい者は、身体障害者、知的障害者、 日本の障がい者は、身体障害者、知的障害者、 日本の障がい者は ということになります。さらにそのご両親がいます。つまり日本には障がい者に関係する人がます。つさんいるのです。936·6万人のうち、たくさんいるのです。936·6万人のうち、たくさんいるのです。936·6万人のうち、人います。うち一般企業等で働く方が約361万人、人います。うち一般企業等で働く方が約361万人、人います。うち一般企業等で働く方が約361万人、

25

(図1) 就労継続支援B型事業所 平均工賃



(図2) 就労継続支援A型事業所 平均賃金



(※)平成18年度から平成23年度までは、就労継続支援A型事業所、福祉工場における平均賃金

出典:図1、2ともに厚生労働省資料

労継続支援A型事業所と、 組んでいます。 働省は障害福祉サ A型では、 りませんが 障がい者にはそれぞれ特性があり、 (以 下 厚生労働省の障害者支援施策 障が A 型、 障がい 働ける人たちがいます。 B型) ビスとして就労支援に取り 者が働く場には、 があります。 就労継続支援B型事

主に就

に対 最低賃金以上の賃金を受け取れます。 フ から出ています しB型は重度の障害者が多く、 の賃金や事業運営にかかる費用は厚生労 いことになっています。 者は事業所と雇用契約を結 雇用契約は なお、 これ

かに就労移行支援事業と就労定着支援事業

障がい者が就職先で働けるよう、 が派遣され ń く前に最長2年間訓練ができます。 ます。 前者は障がい者が学校を出て企業 定着を支援する制度です ジョ J 後者は チ

計約82万人は、

働ける人口

0

2割強にすぎませ

13

は訓練されてい

る方が約32万人です。

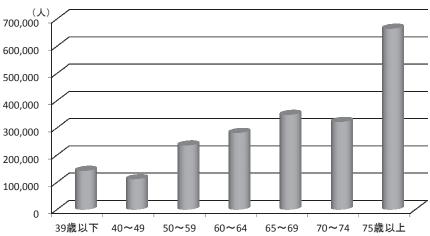
請けが多く この話を聞 み立てなど、 本当に驚きま 10年前は 型では、 たら、 V 1 2, 家電や自動車の部品、 1個何銭の仕事です。 たときには耳を疑い か月の賃金が15, 障がい 0 00円台で え1か月ですと言わ 者の仕事は企業の 菓子箱の 6 日給です はじめ <u>š</u>円 組

全員では

厚生労

低い れは てきたという証でもあ 上は出ません。障がい への民間事業所との競合があり クッキー 平均工賃は右肩上がりにな 関係者と現場が のが現状です やお弁当をつくる方も 図 1 一緒になっ 者、施設スタ ります。 それでも、 つ 思うように売 ッフも頑張 います います。 工賃を上げ まだ 0

一般社団法人 JA共済総合研究所 (http://www.jkri.or.jp/)



出典:農林水産省「農林業センサス」より作成。

障が

11

古

13

農家、

特に畜産に多

13

0

です

が

者を住み込みで雇ってい

ます。

少数

農と福祉に関する取組み事例

は

前

から

の障害福祉

ビス事業所では農業生産を

師

などが園芸療法を実践

してい

ま

97

0年代頃から

理学療法士、

が 9

13

者就農、

1]

ンケ

ア、

ケ

Ź

T

 Δ

9

年代頃

から始まっ

7

ま

b

n

P

小売

ŋ

を

目

袁

福祉 生きが

6 農業と福祉の課題

せるわ 足で、 けることを思い ら上げられるのかと考えま に依頼する なる。 私は14年ほど前、 けです。 繁忙期は 0 そこで働け そこで農業と障 パ つきました 型 障がい B型より やシ ば 月5 ル 者の賃金をどう が 高 10万円の収 13 材 者を結び 賃金が セン 夕

落ちますの 世代は今や85歳以 も平均年齢は 方たちの賃金は低い 75歳以上が突出 平成27年 して 人ずつ働く では20 農業生産に従事する人々 13 22年の農業就業人口は2 ますが、 (前頁図2)。 の農業就業人口 66 9.7 してい 人の数が減少 7 歳 11 85歳を過ぎると一気に体力が 上です。 0) 万人です。 です。 、ます (平成30年) 要するに、 気にこの 私は高齢者介護も調 を年代別 (図 3)。 して 0 61 ま 障が です ・ます。 0 に見ると、 n 6 エが抜け 和 年 表 万 者 で 0

10万 27 年 5

る可能性が高い

です。 近

日本は農業労働力が不足

将来

人口

農業就業人口

うち65歳以上

基幹的農業従事者

うち65歳以上

うち女性

平均年齡

うち女性

平均年齡

農業生産に従事する人々

27年

67.0

平成22年

260.6

130.0

160.5

65.8

205.1

90.3

125.3

66.1

66.6

関係者や現場の努力で、

徐々に工賃を戻し

0

0

精神障害者が働くようになっ

たり、

民間企業が

A型の賃金は月額7

4,

0

85円です

したりしたことで

時期下

-がりまし

たが

		単位: 万人、蔵	
7年	28年	29年	30年
209.7	192.2	181.6	175.3
100.9	90.0	84.9	80.8
133.1	125.4	120.7	120.0
66.4	66.8	66.7	66.8
175.4	158.6	150.7	145.1
74.9	65.6	61.9	58.6
113.2	103.1	100.1	98.7

66.6

66.8

資料: 農林業センサス、農業構造動態調査(農林水産省統計部)

注:1「農業就業人口」とは、15歳以上の農家世帯員のうち、調査期日前1年間に農業のみに従事した者 又は農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い者をいう。

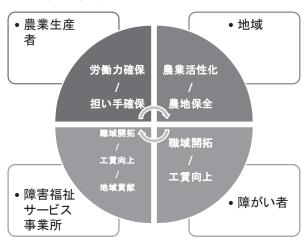
2「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、ふだんの主な状態が「仕事が主」の者をいう。

出典:農林水産省ホームページ

深刻な状況です。

が 45 る義務があります。 率といって、2・2%以上の障がい者を雇用す する取組みを指す用語を「農福連携」に統一 等関係者が集まり、 ユニバ に取り組むものです。 2015年に農水省、厚労省、 な取組みがありました。 農福連携は主体別に4パ 3つめは企業サイドの取組みです。 ・5人以上いる企業には、 つめは障害福祉サ 農福連携のパターン もともとは鳥取県がつくった言葉です 農業法人が障がい者を雇用するもので ・サル農業、 特に障がい者が農業に従事 自社での障がい者雇用が難 ソ 2つめは農業生産者であ ーシャ ビス事業所が農業生産 ターンあります 障害者法定雇用 ファー 私、

(図4) 農福連携に取組むメリット



出典:報告者作成

業法人をつくる動きも出ています。 設立する一方で、 ことに農業生産者が障害福祉サ サイドに委託する例が増えています。 てソーシャルの取組みも増えると予想されます。 農福連携に取り組むことで、 最近は農業生産者が忙しいとき、 障害福祉サ ービス事業所が農 農業生産者は労 ービス事業所を 作業を福祉 興味深

日本基金

ムなど、

貢献でき、地域活性化にもつながります ては新しい働く場になり、 業の担い手・労働力になります。障がい者にとっ 働力を確保でき、 い者の職域拡大、 なります。 福祉サ あるい 賃金上昇を果たすことで社会 ービス事業所にとっても障が は障がい者が新 工賃を上げる契機に (図 4)。 いり

従業員

全国的な農福連携の取組みについ

8

り組んでいます 5割ほどが農福連携に興味がある、 業をやりたいとの回答が12・7%でした。 に取り組んでいるとの回答が33・5%、 ついてアンケー 福祉サイドにおける農業活動の取組み状況に ト調査を行いました。 (次頁図5)。 あるい 現在農業 今後農 は 4

ビス事業所にも使えるとPRした成果です。 時厚生労働省を通じて、 林水産省の交付金が出た時期にあたります。 からの割合が高いです (次頁図6)。 なくなり 時にリー 取組みを始めた時期は3~ マンショ 地域農業に注目が集まったことも要 ックの影響で地方では仕事が 交付金が障害福祉サ 4年前、 これ Ź 年 は 同

ましたが、 そういう中で福祉関係者を中心に広がっ 農業関係者に農福連携の取組みが知 てき

む例が増えています。そして今後、

4つめとし

しい場合、

特例子会社を設立して農業に取り組

Report

しかも の特集の にノウフクJAS 農林水産省は非常にやる気があり 『平成30年度 食料·農業 つが農福連携です (日本農林規格)

ます。

新た

ができます 農村白書

'n

都道府県も厚生労働省の助成金をもとに、

あ

と福祉の連携についての調査研究報告」NPO法人日本セルプセ農林水産省 平成25年度都市農村共生・対流総合対策交付金事業 [1 調査時期は平成2年1 有効回答数は832件 (有効回収率4・0%)。

障がい

を持っている方が本当に働くことができ

が重要です。 して継続して

その

ためには、

農福連携を通じて

ることを知ってもらう。

一般の人々

、の意識啓

発が必要です。

最近の動向

にも取 ポジウムやフォ を開催 V 11 ッチン り組んでいます。 しています。 で、 農福連携の意識啓発をするシン 農業技術者の事業所へ ・ラム、 農作業の受委託をするため 生産物を売るマ の派遣 ル シェ

連携は国の交付金に頼るものではありません

n

7

ないことがまだ大きな課題です。

農福

る

実際に自分たちがつくったものを売り、

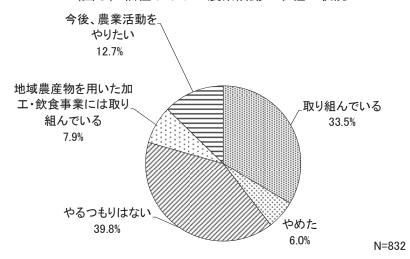
事業と

いくことができるようにすること

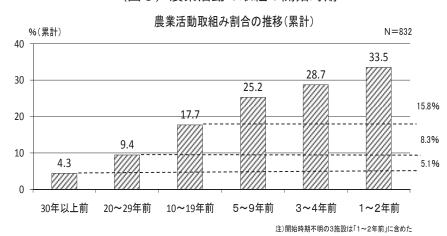
ラット 農福連携推進協議会が設立、 県の 図るものです。 2 あげてい ワ 本農福連携協会として一般社団法人化され 中に農福連携を担当する部署を置き連携を フォ クが立ち上がりまし 17年7月に農福連携全国都道府県ネ 協議会は農福連携に取り組む人々 ただきました。 ームです。 民間でも2017 日本農業新聞などでも取 2 これは各都道府 年3月に全国 18年11月に 0

、地域総合面に載せて、 から応援してくれまして、 農福連携はNHKをはじめ 17 ただきまし 農福連携が強い農業を 福祉社会面ではな T V 日本経済新聞は当 ラジオでも

(図5) 福祉サイドの農業活動の取組み状況



(図6) 農業活動の取組み開始時期



出典:図5・6ともに農林水産省 平成25年度都市農村共生・対流総合対策交付金事業「農 と福祉の連携についての調査研究」NPO法人日本セルプセンター

毎日等各新聞も特集を組んでくれました。つくると位置づけています。また、朝日、読売、

場を視察されました。本当に嬉しかったです。昨年は天皇(現・上皇)陛下が農福連携の現

- 日公表)」39―5ページ。日公表)」39―5ページ。
- *4)都道府県が連携して、農福連携の取組みを地域に定着させ、さらに拡大を図るため、農福連携主管部長を会員とし、三重県に事務局が置かれた地道府県の農福連携主管部長を会員とし、三重県に事務局が置かれ全都道府県の農福連携主管部長を会員とし、三重県に事務局が置かれている。三重県ウェブサイト http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0023300040.htm 等を参照。
- (*5)一般社団法人日本農福連携協会ウェブサイト http://noufuku.jp/
- (2017年後来が変わる) (2017年6月6日放送) で農業が変わる」 (2017年6月6日放送) で農業が変わる」 (2017年6月6日放送) で農業が変わる」 (2017年6月6日放送)
- ○NHK テレ TVシンポジウム「農の福祉力」(2018年3月3のカタチ〜」(2017年7月11日放送)
- 〇NHKラジオ ラジオ深夜便 「農福連携で地域を元気に」 (2018日放送)
- 〇TOKYO FM「あぐりずむWEEKEND」(2019年2月23日放送)

10. 農福連携に取り組むために

です。

「困ったときには周りに相談する」ことが大切

「困ったときには周りに相談する」ことが大切

とることから始

農業サイドは、セミナーに出たり本を読んだりして知ること、実際に交流してみることが重要になります。視察に行ったり、余った農産物の寄付や資材の提供、機械を貸したりするのもよいかもしれません。さらにお試しで施設によいかもしれません。さらにお試しで施設に等体験を受け入れるとか、委託してみることが重めかたらよいと思います。

組みを通じて、試してみることです。大切です。あとは農業体験や小規模な農業の取大値です。あとは農業サイドと同様、知ることが

実際、農業サイドが職業体験の受け入れや農

ケーションが図れるようになることが必要です。は事業安定を図り、障がい者と確実にコミュニ格的に雇用するのはハードルが高いです。まず格の委託から始めて、障がい者をいきなり本

1. 今後への期待

割を持つことが重要になります。 障がい者は社会保障のサ てるようにしていかなければなりません。 者に光を当てるのではなく、 い者はサービスを提供する主体になる。 本気でつくっていきたいと思います。 これからは障がいを持っ 「地域で共に生き、 ービスを受ける主体で 障がい者が光を当 助けあう」社会を ている方が役 つまり、 これまで 障がい 障が

るはずです。福祉分野の点の取組みを、線さらしたり、農業生産や加工をしたり、交流ができ働力を提供するだけでなく、例えば一緒に企画また、障害福祉サービス事業所は、地域に労

す。
るいはマッチングしていくことが重要になりまに面にしていく。モデルをどんどんつくり、あ

たことを全部一人でやっていました。これを今 昔でいうお百姓さんです。 ろまでもっていきたい。これは何かというと、 というのは農業だけではなく、農林水産業、 要になります。 日的にやっていきたい ネルギー産業、 連携の領域、 般の 対象、 そして商工業も含めていくとこ 具体的には何かというと、 人々 意義を広げていくことが必 への普及と意識啓発、 お百姓さんはこうし

ける主体となります。この方たちが地域で何か約2,000万人が何らかの福祉サービスを受生活困窮者、生活保護受給者なども加えると、医活困窮者、生活保護受給者なども加えると、要介護の高齢者は現在約650万人です。単純要介護の高齢者は936・6万人と言いましたが、

35

思います。 地域全体が輝くような方向にもっていきたいと らさらに+α連携になること、例えば農福商業 役割を持つことにより、農業と福祉だけでなく 農福産業連携といったイメージです。 農福工業連携、農福介護連携、 そのために重要なのは、 農福連携か 農福医療

かが重要です。 せん。農福連携の+α連携をどれだけつくれる の成功事例が地方創生の成功モデルではいけま 応じた地方創生の形ができるはずです。 地域に様々な農福連携の形が生まれ、 どこか 地域に

15 協同組合への期待

新しい農業も出てきました。私はこれを「農生 その対価を得るという形でした。 てきました。これまでの農業はものをつくり、 農福連携をすすめていくと、新しい形が見え 教育、 体験、 福祉サービスなどを提供する 現在では、

> 最終的には福祉も農福連携という言葉もなくな 業」と呼んでいます。社会的に不利な立場にあ る状態に持っていきたいのです。 る方たちのことは「キョード ー者」と呼びたい。

携をすることで地域を元気にすることができる。 つくっていきたいと思います。 く農福商工連携に発展し、 農福連携から、 多様な人間、 私は 地域のあらゆる経済と結び 動植物の命も輝く里マチを 「里マチ」と呼んでいま さらにさまざまな連

ですが、 は協同組合の基本理念です。これが共生の形だ は協同組合なのではないかと思っています。「一 いものだとつくづく思います。 人はみんなのために、 今日は協同組合関係者の方がたくさんおい ここに農が加わったら、 私はやはり、こういうことができるの みんなは一人のために」 本当に私たちらし

多様な一人一人が元気に明るく、そして困っ

げていきたいと考えます。 社会の中で役割をもって、 持っている方を含めたキョ 手段が農福連携だと思っています。 う社会を一緒につくっていきたい。 たときに助け合 そしてそのマインドをどんどん世の中に広 お互い豊かになる。そうい 社会を元気にしてい ドー 者の皆さんが そのための 障がいを

